

DERWENT-ACC-NO: 2001-594120

DERWENT-WEEK: 200167

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Roller track using Y-bolt support fixture has forks
oriented at right angled in inverted Y-shaped bolt to
hold rollers that roll over inverted V-shaped rails

PATENT-ASSIGNEE: SHIMIZU K[SHIMI]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0107403 (March 4, 2000)

PATENT-FAMILY:	PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES
MAIN-IPC				
JP 2001247037 A		September 11, 2001	N/A	003
B61F 009/00				

APPLICATION-DATA:	PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
	JP2001247037A	N/A	2000JP-0107403	March 4, 2000

INT-CL (IPC): B61F009/00, B61F013/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001247037A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The bolt (2) has two forks oriented at right angles and configured in inverted V' shape. A roller (3) is mounted to each fork and fastened using nuts. Rollers roll over an inverted V-shaped rail (1).

USE - For transit over rail track.

ADVANTAGE - Prevents separation of roller and bolt by use of forks.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a perspective view of inverted Y' shaped bolt.

V-shaped rail 1

Bolt 2

Roller 3

CHOSEN-DRAWING: Dwg.3/3

DERWENT-CLASS: Q21

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-247037

(P2001-247037A)

(43) 公開日 平成13年9月11日 (2001.9.11)

(51) Int.Cl.⁷

B 6 1 F 9/00

13/00

識別記号

F I

B 6 1 F 9/00

13/00

データベース*(参考)

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-107403(P2000-107403)

(22) 出願日 平成12年3月4日 (2000.3.4)

(71) 出願人 500164374

清水 宏志

愛媛県松山市溝辺町甲449番地20

(72) 発明者 清水 宏志

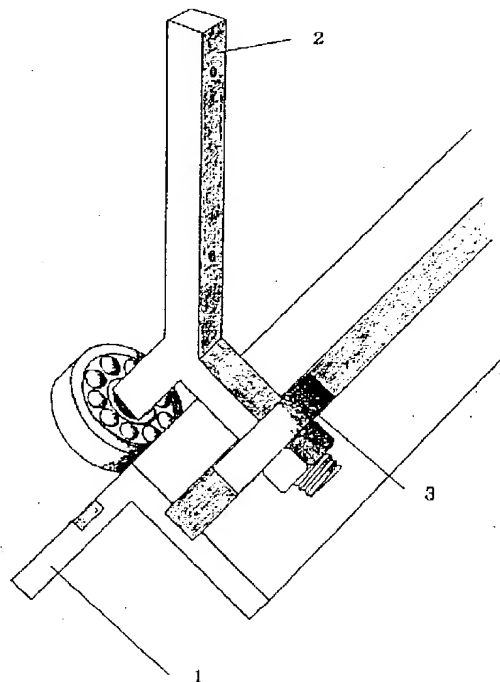
愛媛県松山市溝辺町甲449番地20

(54) 【発明の名称】 離脱防止レール・逆Y字型ボルト車

(57) 【要約】

【課題】レールと車との関連を一体的簡単構造に発明したものである。通常、レールと車との関係は、単に車がレールの上に乗って走っている状況である。このような状況において、フック又はガード等の付属品を取り付けることなくレールの構造および車の軸受け構造を発明したことにより、レールから車が浮上・脱線しない構造の組み合わせのものを提供する。

【解決手段】逆Y字型レールの両側に車を通るラインに段差又は溝を設け、それぞれの段差又は溝の下部底面との関係を直角とした離脱防止の両側溝付きレール1に、逆Y字型ボルト2の二股部分の間の角度を直角にし、この二股部分に車3を取り付け固定したものを、これらの角度を利用して差し込み組み合わせることにより、レールと車との構成が簡単となる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 離脱防止の両側溝付きレールに、逆Y字型ボルトの二股部分に車を取り付け固定したものを、差し込み組合わせた離脱防止レール・逆Y字型ボルト車である。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、ほとんどのレール式に利用できる離脱防止レール・逆Y字型ボルト車で、レールから浮上・脱線させたくない製品に使用することができる。

【0002】

【従来の技術】 従来より、レールと車は、単にレールの上を車が走っている状況である。この場合、レールから浮上・脱線させたくない方法としては、フック又はガード等の付属品を取り付けている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 これには、次のような欠点があった。

(イ) 車の台等にフック又はガード等の付属品を取り付けるため、製品に数多くの穴をあけることにより製品の強度が落ち、構造的に劣弱となる。

(ロ) 付属品のフック又はガード等に対応するため、レールに深い溝又は複雑な構造等を設けることになり、レールの構造が劣弱・複雑化する。

(ハ) レールと車の付属品との距離が離れていることから、少々の力で付属品であるフック又はガード等の変形が生じ、レールからの浮上・脱線の防止ができなくなり、本来の機能を果たせない不満な点がある。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 逆Y字型レールの両側に車が通るラインに段差又は溝を設け、それぞれの段差又は溝の下部の底面との関係を直角とした離脱防止の両側溝付きレールに、逆Y字型ボルトの二股部分の間の角度を直角にし、この二股部分に車を取り付け固定したもの

を、これらの角度を利用して差し込み組合わせる。本発明は、以上のような構成によりなる離脱防止レール・逆Y字型ボルト車である。

【0005】

【発明の実施の形態】 以下、本説明の実施例について説明する。

(イ) 逆Y字型レール両側の段差又は溝の下部底面との関係を直角とした離脱防止の両側溝付きレール1の構造。

(ロ) ボルトの二股間を直角とした逆Y字型ボルト2の二股部分に車3を取り付け固定。

(ハ) 離脱防止の両側溝付きレール1に、逆Y字型ボルト2の二股部分に車3を取り付け固定したものを、これらの直角関係を利用して差し込み組合わせる。

本発明は以上のような構成で、これを使用する時は、逆Y字形ボルト2の二股部分に車3を取り付け固定したものを、レール式の製品に取り付けて、離脱防止の両側溝付きレール1に、差し込むものである。

【0006】

【発明の効果】 これには、次のような効果がある。

(イ) 構造が簡単であり、レールからの浮上・脱線が防止できる。

(ロ) 離脱防止レール・逆Y字型ボルト車が一体的になっていることから、少々の力で変形は生じない。

本発明は、これらの効果をもたらすものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の離脱防止レール・逆Y字型ボルト車を示す正面図である。

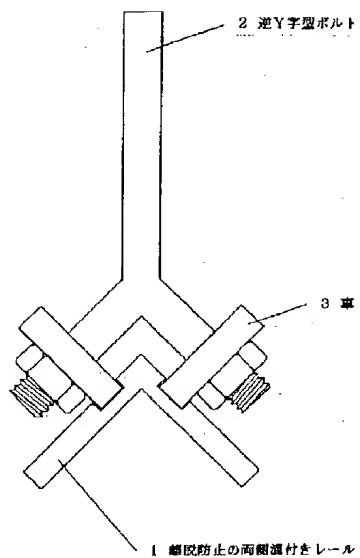
【図2】 本発明の離脱防止レール・逆Y字型ボルト車を示す側面図である。

【図3】 本発明の離脱防止レール・逆Y字型ボルト車を示す斜視図である。

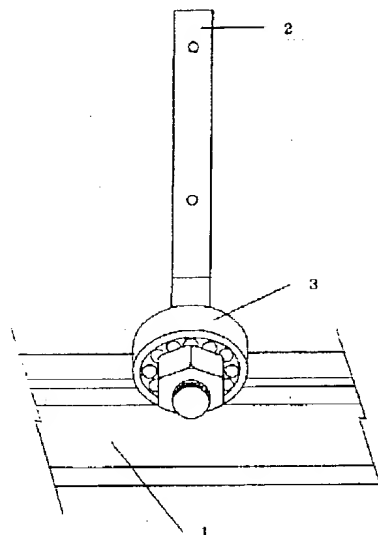
【符号の説明】

- 1 離脱防止の両側溝付きレール
- 2 逆Y字型ボルト
- 3 車

【図1】



【図2】



【図3】

